

森林認証制度活用と企業CSR活動の連携が生む、森林管理と人的交流の展開

面積のほとんどが森林で占められている岩手県岩泉町で、町の森林認証の動きと企業のCSR活動の動きがマッチし、森林の管理と林産物の製造、加工、流通が適切に循環している。また、自然環境が良好に保全されるだけでなく、雇用の創出や都市部企業の植林等CSR活動による人的交流も生まれている。



背景と課題

町の基盤である森林をどう活かすか

岩泉町の面積は99,300haほどあり、そのうち森林面積は約93%を占め、森林・林業は多くの意味で町にとっての基盤となっている。しかし、林業従事者の高齢化及び後継者不足、産業経済の変化等の問題から、林産業が衰退し始め、町の貴重な資源である森林の保全・管理を適切に行うことが困難な状況にあった。そのため町の資源である森林・林業の再生を目指し、質の高い森林を維持保全していくことが喫緊の課題とされ、その結果として、木材などの林産物、ひいては岩泉の森林全体の環境的、経済的、社会的付加価値を高めていくことが求められていた。



取組のきっかけ

森林資源が取り持った企業との連携

林業経営が非常に厳しい状況の中、町の大部分を占める森林の付加価値を高める手法として、環境に配慮し適切に管理されている森林を認証する制度に町が着目。平成14年より町有林に加え、財産区有林や社有林も含めて森林認証の取得に取り組むこととなった。

また、森林認証取得をきっかけに、NPOが仲介し、森と企業を結びつける「森の町内会」活動が展開されるとともに、CSR活動の一環として、製紙会社を含めた企業等とのサポーター制度も立ち上がり、認証林から生産された間伐材等を製紙原料として提供し、紙をサポーター企業が使用することで、資源循環の一端を担ってもらう体制が構築された。一方で、サポーター企業は認証林の管理費用の一部を岩泉町に提供するとともに、企業研修やレクリエーションの場として認証林を活用するなど、都市部企業と岩泉町との人的交流も生まれている。



岩泉町役場

所在地：〒027-0595

岩手県下閉郡岩泉町

岩泉字惣畑59-5

連絡先：0194-22-2111

FAX：0194-22-5577

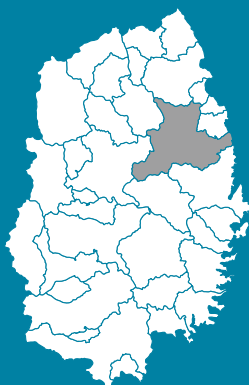
岩手県岩泉町

総人口：11,748人

高齢化率：35.8%

世帯数：4,745世帯

総面積：992.91 km²





取組と成果

森林認証の取得とFSC森林認証の森サポーター制度

取組1

FSC森林認証の取得

平成15年に町有林、大川財産区有林、及び町内に社有林を持つ企業((株)吉本)3者の森林(合計面積約5,300ha)について森林管理協議会(FSC)から森林管理認証を受けることとなった(平成19年に三菱製紙(株)と北菱林産(株)を加え、現在5者)。認証取得にあたっては、林産資源のモニタリングや山林のゾーニングの実施によって森林が評価され、保全すべき森林、活用する森林などの区分を図った。

取組2

CoC認証の取得

FSC認証を受けた森林から伐採した木材等林産物について、その製造、加工、流通を認証する「CoC認証」を取得し、認証林からの木材を原料に最終製品を製造・販売できる体制が整うとともに、町の特産であるワサビやシイタケ、マツタケ等の特用林産物など、多様な認証製品の生産に向け取組を進めている。

取組3

「森の町内会」による間伐促進

間伐及び間伐材の利用促進を図っている「環境NPOオフィス町内会」が平成17年に「森の町内会」事業を立ち上げ、第一回間伐を岩泉町で実施した。切り出された間伐材は三菱製紙(株)で印刷用紙とされ、間伐サポーター企業が買い取る仕組みとなっている。

取組4

FSC森林認証サポーター制度の開始

平成19年に三菱製紙(株)、岩泉町、三菱UFJ投信(株)の3者が、森林認証制度の普及や、国内林業の振興、二酸化炭素吸収源の確保への寄与を目指して「FSC森林認証の森」サポーター制度を立ち上げた。FSC森林認証のサポーター企業が認証森林管理費用の一部を岩泉町に提供し、岩泉町が環境及び経済的に豊かな森をつくっている。



成果

森林の保全・活用が明確化

認証取得におけるモニタリングやゾーニングによって、今まで保全重視であった町有林でも活用できるエリアが明確になり、木材生産における経済性が向上した。

企業との連携

森林認証への取組がCSRの風潮とマッチングし、都市部企業と協力体制を順調に組むことができた。林産業の資源の循環と、林業維持の費用確保のみならず、企業の社員が町を訪れ林業の手伝いや、レクリエーションを行うことで、都市部との人的交流も展開されている。

国際的な評価

認証において、ゾーニングで区分された「水源の森」(町有林)は、特に保護価値の高い森林として世界的な標準から見ても貴重な自然環境であるとの評価がなされ、まちの貴重な財産としての再認識が図られた。

雇用の創出

森林認証紙のユーザー企業や森の町内会のサポーター企業等による林業への経済支援によって雇用が生まれ、町の経済に貢献している。